

問1 かがみではね返した日光を、同じ場所にたくさん重ねて当てると、当たっている場所の明るさと温度はどうなりますか。

問2 ものから音が出るとき、そのものはどのようにになっていますか。

問3 虫めがねを使って日光を紙にあてるとき、紙にあたっている明るい部分の大きさをかえるためには、何をかえればよいですか。

問4 かがみではね返した日光をかべに当てたとき、日光が当たったところの様子はどのようになりますか。

問5 かがみではね返した日光を重ねる枚数を、3枚から5枚に増やすと、当たっている場所の明るさと温度はどう変化しますか。

問6 楽器（がっき）から小さい音を出したいとき、もののふるえ方はどのようにすればよいですか。

問7 虫めがねで日光を集めるとき、日光が当たる明るい部分の大きさを小さくしていくと、その部分はどのようにになりますか。

問8 太鼓（たいこ）をたたいて大きい音を出したとき、太鼓の皮のふるえ方はどうなっていますか。

問9 かがみではね返した日光を日かげに置いた温度計に当てると、温度計の目もりはどうなりますか。

問10 虫めがねを使って日光を1つの場所に集めると、日光が当たった部分は、まわりのほかの部分とくらべてどのようにになりますか。

問11 音がつたわるとき、音をつたえているものはどのようにになっていますか。

問12 かがみではね返した日光を、日かげのかべに当てるとき、光の通り道はどのようにになっていますか。

問13 音をつたえているもののふるえを止めると、音はどうなりますか。

問14 出ている音を止めたいとき、どのようにすればよいですか。

問15 虫めがねと紙のきよりをいろいろかえると、紙にあたっている日光の明るい部分はどのようになりますか。

問16 かがみを使ってはね返した日光は、どのように進みますか。